

名護市 ハザードマップ

底仁屋

令和4年3月

防災マップの使い方と避難

この防災マップは、災害の発生により被害が想定される内容、場所を事前を知っていただき、災害に備えていただくことを目的としています。

防災マップの使い方

まず、自分の位置を確認しましょう。
災害が想定される位置を確認しましょう。自分がいる場所は、どのような災害が予想されるのかを、地図をみて確認しましょう。

次に、近くの避難所を確認しましょう。
一番近い災害に応じた避難所を地図で確認しましょう。

災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう。
避難経路を地図で確認し、土砂災害や津波などの災害が想定される場所を避けて避難できるようにしましょう。

実際に避難経路を確認しましょう。
避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

発行：名護市 制作：株式会社ゼンリンインターマップ 作成：令和4年3月

感染症対策

家でできる感染対策

換気
こまめな換気をする。
・台所や洗面所などの換気扇の常時運転する。

食事のときは
・対面ではなく、横並びで座りましょう。
・大皿は避けて、料理は個々に盛り付けましょう。
・会話する際は、マスクをつけましょう。
・食事は短時間で済ませましょう。

健康管理など
・毎朝の体温測定、健康チェックを習慣づけましょう。
・体調が悪い家族がいるときは、家族全員がマスクを着用しましょう。
また、部屋を分けるなどの対策を行いましょう。
・買い物は、少人数で空いている時間にできるだけまとめて行いましょう。

帰宅したら
・人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、もしくはシャワーを浴びましょう。
・使用した不織布マスクは、すぐに捨てましょう。

「手洗い」は感染予防の基本
・ウイルスから身を守り、周囲に広げないためにもっとも重要なのが「手洗い」です。
・アルコール手指消毒薬も予防に効果的です。
●**手洗いのタイミング**●
・家に帰ったとき
・咳やくしゃみ、鼻をかんだあと
・ご飯を食べる前後
・病気の人のケアをしたとき
・外にあるものを触ったとき

広げないために
・共有部分(トイレ、ドアノブ、電気スイッチなど)を1日1回以上、消毒しましょう。
・トイレ、キッチン、洗面所などでのタオルの共用は避けましょう。
・歯ブラシは個別に保管しましょう。
・ゴミは密閉して捨てましょう。
・トイレは蓋を開けてから水を流しましょう。

災害時の感染対策 災害が発生した場合の避難所では、密閉した空間の中での集団生活等により新型コロナウイルスをはじめ、インフルエンザや風邪等の感染症のリスクが高まるおそれがあります。少しでも感染リスクを軽減するために次のことについて、地震や風水害発生時の避難に備えて平時から準備をお願いします。

避難者の健康状態の確認
避難者の健康状態を確認するため、避難所に入る際は、ご自宅での体温測定、避難所での体温測定にご協力願います。なお、発熱、咳などの症状がある方は、かかりつけ医に相談し、可能であれば旅館やホテル等での避難も検討してください。

避難者の健康状態の確認
避難時に、避難所が過密状態になることを防ぐために、可能な場合は親戚や知人の家、ホテル、旅館などへ避難することを検討しておください。

在宅避難
在宅で安全が確保できるか?
(自宅等で待機可能か?)

縁故避難
親戚や知人宅等への避難ができるか?

自主避難
宿泊施設等を確保しての避難ができるか?

垂直避難
自宅等の高所階への避難ができるか?
(水害・土砂災害時に限る)

避難所の衛生環境の確保
避難者が共有する物品やスペースは定期的に、家庭用洗剤を用いて清掃するなど、避難所の衛生環境をできる限り整えましょう。なお、避難所の備蓄品には限りがあります。水や食料品などに加え、自身の健康状態を確認するために体温計を持参するなど、可能な限り必要なものは持参してください。

避難所での過ごし方 3つの密を避けましょう!

①換気の悪い**密閉空間** 換気に努める

②大勢が集まる**密集場所** 避難者同士の距離を保つ

③間近で会話する**密接場面** 近距離での会話は最低限で

3つの条件が揃うとクラスターの発生リスクが高まります!

防災に関する知識

緊急時の連絡先	名称	電話番号
消防・救急は 119番	名護市役所 総務課	0980-53-1212(内線208)
	名護海上保安署	0980-53-0118
	沖縄県立北部病院	0980-52-2719
	北部地区医師会病院	0980-54-1111
警察は 110番		

日常の心得
災害は、いつ発生するかわかりません。日頃からの備えが大切です。日頃から気象情報について、テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなどを通じて把握するよう努めましょう。

連絡方法の確認 災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。
なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。事前に利用方法を確認しておきましょう。

社団法人電気通信事業者協会 《災害時の電話の利用方法》	https://www.tca.or.jp/information/disaster.html
NTT西日本 《災害用伝言ダイヤル171》	https://www.ntt-west.co.jp/dengon/
NTTドコモ 《災害用伝言板サービス》	https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/index.html
au 《災害用伝言板サービス》	https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/
SoftBank 《災害用伝言板サービス》	https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/

緊急速報メール 【緊急速報メール】により、緊急情報を配信します。

市では、災害時の避難指示などの緊急情報をより多くの人にお伝えするため、緊急時に市内にいる人の携帯電話へ【緊急速報メール】の配信を行います。
●【緊急速報メール】とは、高齢者等避難などの緊急情報を市内にいる人の携帯電話(NTTドコモ、au、ソフトバンク)へ一斉にメールを配信するものです。
※機種により【緊急速報メール】を受信できない場合や受信設定が必要となる場合がありますので、詳しくは、各携帯電話会社へお問い合わせください。
●配信する情報は、高齢者等避難や避難指示(緊急)など、緊急かつ重要な情報です。
●携帯電話を利用する人の費用負担や事前のメールアドレス登録は必要ありません。

名護市WEB版ハザードマップ

名護市WEB版ハザードマップでは、パソコン・スマートフォン上で名護市内の災害に関する危険想定箇所や、避難施設の詳細情報をご覧いただけます。下記URL、または右記のQRコードよりアクセスしてご利用ください。

URL
<https://www.city.nago.okinawa.jp/kurashi/2018071900592/>

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

非常時持ち出し品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

非常時持ち出し品(例)

携帯ラジオ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)	救急医療品 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 傷薬 <input type="checkbox"/> 鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール	貴重品 <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 免許証	懐中電灯 <input type="checkbox"/> 懐中電灯(できれば一人にひとつ) <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)
非常食品等 火を通さないで食べられるもの、食器など <input type="checkbox"/> 非常食品 <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> 紙皿 <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> 紙コップ	その他 <input type="checkbox"/> 衣類(下着・上着など) <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 乳幼児用品 <input type="checkbox"/> カップ <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/> タオル	感染症対策 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 石鹸・ハンドソープ <input type="checkbox"/> ビニール袋(大小)	

非常時用品(例) 災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

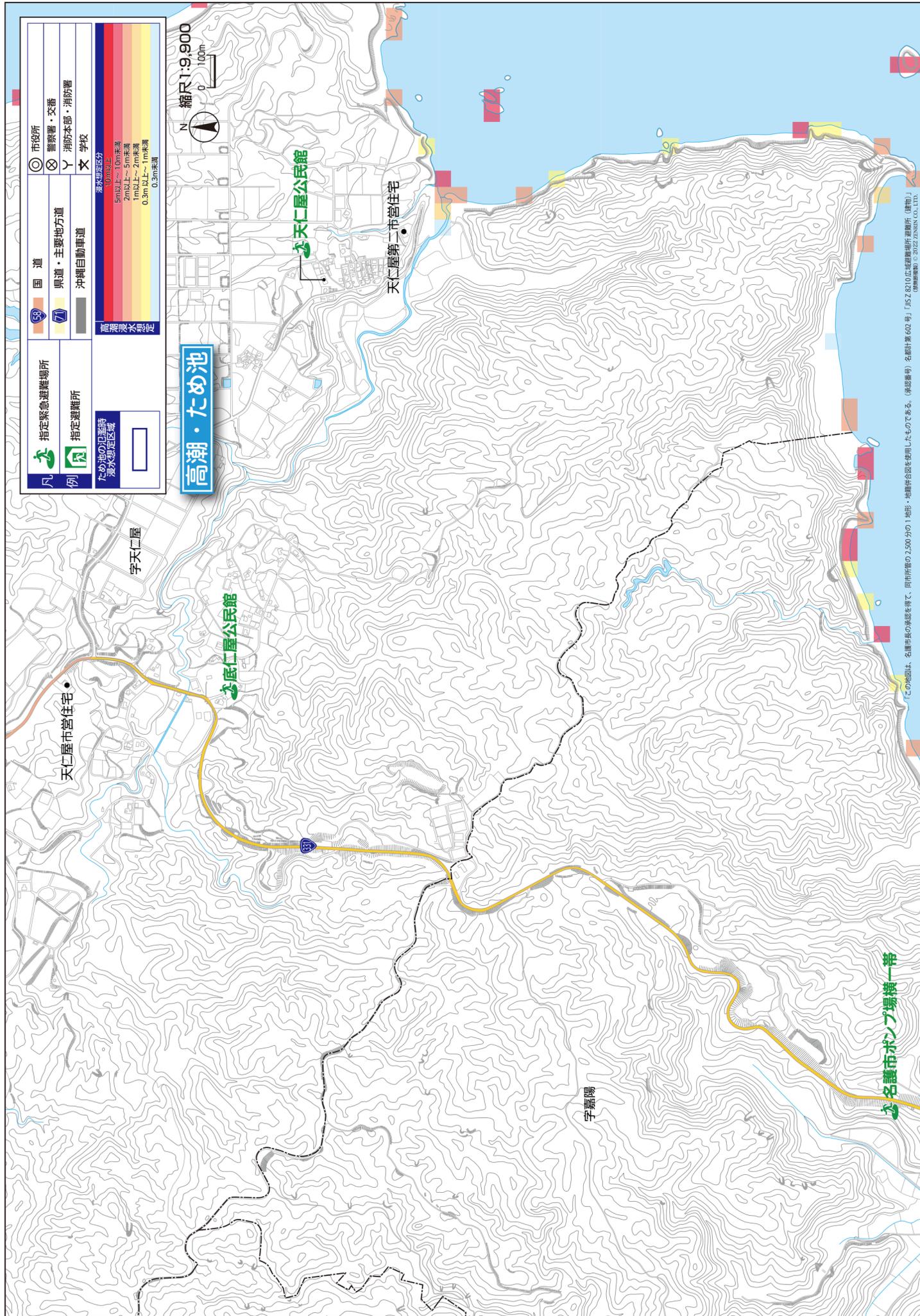
飲料水 <input type="checkbox"/> 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に) <input type="checkbox"/> 貯水した防災タンクなど	燃料 <input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料
非常食品 <input type="checkbox"/> お米(レトルト・アルファ米も便利) <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> 梅干し・調味料など <input type="checkbox"/> ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)	その他 <input type="checkbox"/> 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水) <input type="checkbox"/> 毛布・寝袋・洗面用具・ドラインシャンプーなど <input type="checkbox"/> 調理器具(なべ・やかんなど) <input type="checkbox"/> パケツ・各種アウトドア用品など

定期点検! 非常時持ち出し品は定期的な点検を!
いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持ち出し用品の不備を定期的に点検しましょう。

避難生活が長引くときに便利なもの 携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、ざらし、筆記用具(マジックなど)スコップなど。

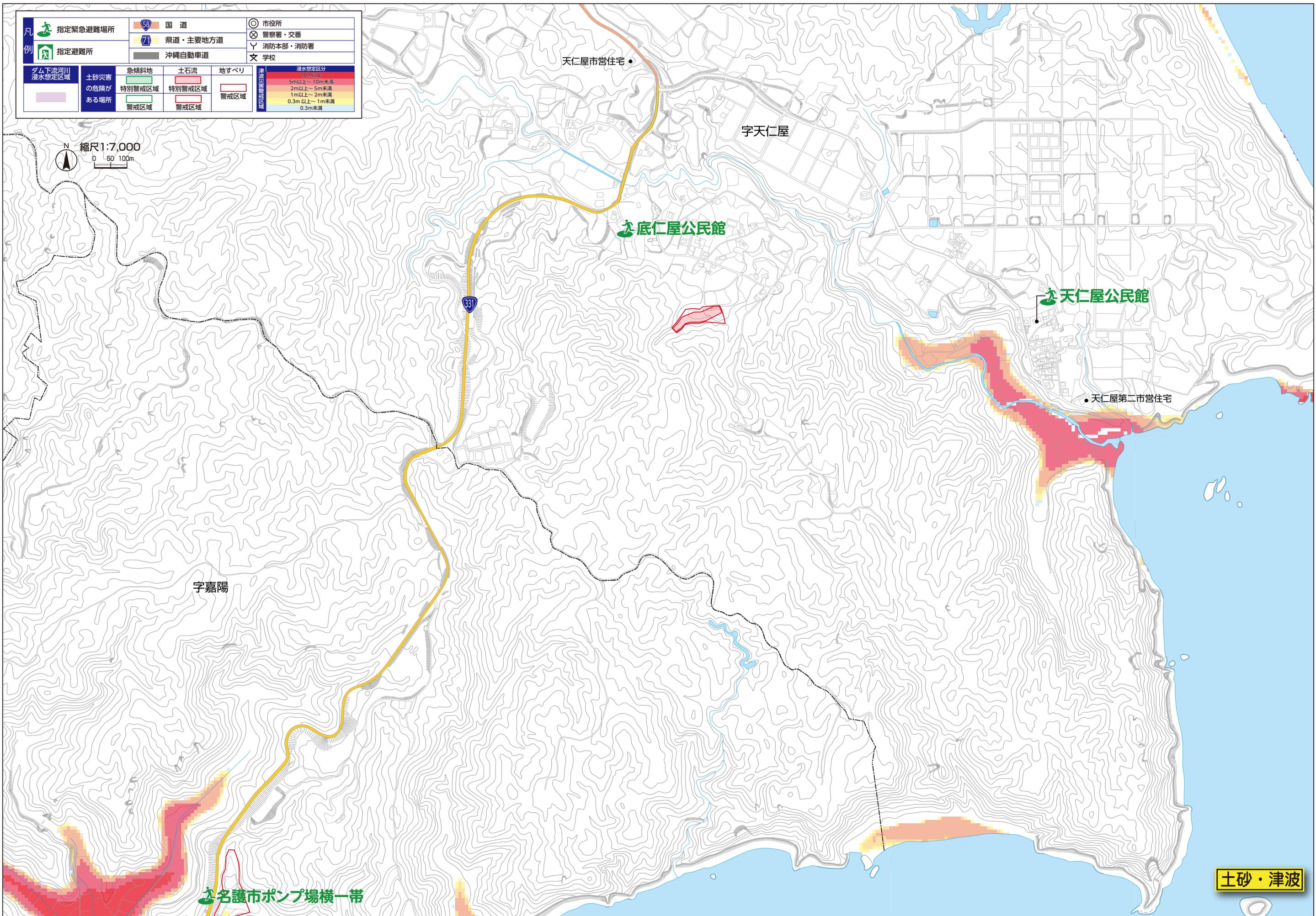
大規模災害で役に立ったもの ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、パールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持ち出し品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限は早めにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。



凡	指定緊急避難場所	国道	市役所
例	指定避難所	県道・主要地方道	警察署・交番
		沖縄自動車道	消防本部・消防署
			学校
ダム下流河川浸水想定区域	土砂災害の危険がある場所	急傾斜地	土石流
	特別警戒区域	特別警戒区域	地すべり
	警戒区域	警戒区域	警戒区域
			津波浸水想定区域
			浸水想定区分
			10m以上
			5m以上～10m未満
			2m以上～5m未満
			1m以上～2m未満
			0.3m以上～1m未満
			0.3m未満

N 縮尺1:7,000
0 50 100m



土砂・津波